

# 地元高校と連携した活動の実施

み のはら あがつま なかのじょう 美野原広域協定(群馬県吾妻郡中之条町)

当初は、4つの土地改良区にそれぞれ活動組織があったが、事務の効率化と交付 金の有効活用のため、平成29年に広域化し、一つの広域組織となった。

構成員の高齢化により施設の維持管理が難しくなっている中、地元の吾妻中央高校 と連携して、水路の維持管理の基本となる水路図の作成、点検診断や簡易補修に取り 組んでいる。

### 活動開始前の状況や課題

- ○構成員の高齢化により施設の維持管理 が難しくなることが予想されていた。
- ○水路の適切な維持管理のための基礎 資料となる水路図の整備と、各水路の 破損状況を把握する必要があった。
- ○地域内に実習農場をもつ吾妻中央高校 では、農業用施設の測量や、点検診断 等を実地でできる実習の場を求めてい た。



構成員による水路の点検

### 取組内容

〇水路図の整備や点検診断を実施したい 活動組織と、測量などを実地でできる実 習の場を求めていた吾妻中央高校とで 話がまとまり、高校の実習を兼ねて水路 図の作成、点検診断と補修を共同で実 施することとなった。



### 【地区の概要】

•取組面積:243.8ha

(田130.2ha、畑113.6ha)

•資源量:開水路 105.1km

農道 51.4km

•構成員:自治会、土地改良区、 子供会、老人会、地元高校等

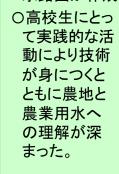
•交付金:約17.1百万円

農地維持支払

資源向上支払(共同、長寿命化活動)

## 活動の効果と今後の展開

○平成26年から令和3年にかけて群馬県、 東京農業大学などの協力の下、施設の保 全管理に役立つ総延長34kmの農業用 水路図が作成された。





完成した水路図

水路の補修